

令和3年第3回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 6月3日(4日・7日)

No.	質問者	質問項目(答弁者)
1	勝野 正規 (保守の会)	<p><u>1. 教育長の教育方針を問う(教育長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>現在、令和2年度から令和5年度までの「第2期可児市教育振興基本計画」をもって教育に取り組んでいる。今後、新教育長は可児市の教育施策を進めるための教育方針は。</p> <p>質問1 新教育長としての可児市の教育方針は。</p>
2	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 「生理の貧困」と「生命(いのち)の安全教育」(教育長、こども健康部長、教育委員会事務局長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>コロナ禍で、女性たちが職を失い、DVなど様々な困難に直面しています。しかし、今、若い人たちから女性蔑視や性犯罪を許さない動きが広がっています。本市はどう答えていきますか。</p> <p>質問1 本市では「生理の貧困」どのように取り組みますか。</p> <p>質問2 本市小中学校ではどのように「生命の安全教育」を進めていきますか。</p> <p>質問3 本市幼稚園、保育園ではどのように「生命の安全教育」を進めていきますか。</p> <p><u>2. 学校給食摂取基準改正を反映した給食を(こども健康部長、教育委員会事務局長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>本年4月より学校給食の摂取基準が改正された。塩分や脂質の摂取を減らした内容が望ましいとされた。本市の学校給食には、基準改正はどのように反映されているか。また、キッズクラブのおやつについてはどうか。</p> <p>質問1 学校給食摂取基準の改正は令和3年度の学校給食に反映されていますか。</p> <p>質問2 地場産物の利用状況はどうか。増えていますか。</p> <p>質問3 キッズクラブのおやつについてはどうか。</p>

No.	質問者	質問項目 (答 弁 者)
3	天羽 良明 (可児未来)	<p><u>1. コロナ禍の避難所運営などについて (総務部長、建設部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>集中豪雨や台風などの水害リスクに対する、避難情報の伝達と避難所運営は、地域の力が鍵を握る。平時から防災の備えを地域と共に充実させておくべきだと考えるが現状と対策は。</p> <p>質問1 コロナ禍の避難所運営マニュアルに基づいた防災訓練は。</p> <p>質問2 避難情報の変更についての本市の対応と住民への周知は。</p> <p>質問3 換気や熱中症予防策として避難所のエアコンの点検や外付けエアコン等の準備は。</p> <p>質問4 分散型避難で起こりうる車中泊避難の駐車スペースの事前周知をどう考えるか。</p> <p>質問5 豪雨時、河川道路の侵入防止など人的・物的対策はどのようにしているのか。</p>
4	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<p><u>1. 円滑な新型コロナワクチン接種について (こども健康部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>新型コロナワクチン接種推進室職員の時間外労働時間数、7月末までの接種完了に伴う予算の変更、キャンセル時の対応の周知や基礎疾患や障がい有者の方の先行予約及び合理的配慮について問う。</p> <p>質問1 新型コロナワクチン接種推進室職員の時間外勤務や人員について。</p> <p>質問2 接種計画等の変更に伴う予算について。</p> <p>質問3 新型コロナワクチン接種キャンセルに伴う対応の周知について。</p> <p>質問4 基礎疾患を有者の方の先行予約期間の設定について。</p> <p>質問5 障がい有者の方の接種希望者に対する合理的配慮について。</p> <p><u>2. こども医療費に関するコンビニ受診抑制について (企画部長、福祉部長、教育委員会事務局長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>こども医療費助成に関する市長部局及び教育委員会の認識と取り組みについて問う。また、令和3年度こども医療費が削減された場合の活用及びこども医療費還元の不執行の対応について問う。</p> <p>質問1 こども医療費助成に関する市長部局のコンビニ受診抑制策の取り組みについて。</p> <p>質問2 こども医療費助成に関する教育委員会のコンビニ受診抑制策の取り組みについて。</p> <p>質問3 令和3年度のこども医療費が削減した場合の活用について。</p> <p>質問4 こども医療費還元の不執行の対応について。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
5	板津 博之 (会派きずな)	<p>1. 本市の新型コロナウイルスワクチン接種体制を問う (こども健康部長)</p> <p>一問一答方式</p> <p>本市でも5月から65歳以上の高齢者を対象とした新型コロナウイルスワクチンの接種が始まった。ワクチン接種の予約方法や接種体制については自治体に任されている。これまでの本市の接種体制について問う。</p> <p>質問1 65歳以上の高齢者を接種対象とした理由は。</p> <p>質問2 ワクチン接種会場及び接種日程の選定にあたり考慮した点は。</p> <p>質問3 予約方法を電話とWEBに決められた理由は。</p> <p>質問4 過去2回の予約受付での課題と今後の改善点は。</p> <p>質問5 集団接種模擬訓練の成果と今後の課題は。</p> <p>質問6 当日キャンセルなどで余ったワクチンの取り扱いは。</p> <p>質問7 若年層への接種スケジュールは。</p>
6	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p>1. 市環境政策、温暖化防止対策の課題は (市民部長)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>経産省は再エネ比率の倍増を打出し、19年度実績18%の倍増を目指し、30%台の後半をめざす2030年度目標を提示した。本市の新エネ計画も節目となり第2~3期の10年と重なる。本市の新エネ戦略を質す。</p> <p>質問1 可児市における「地球温暖化防止対策の実行計画」(第11版)の特徴は。</p> <p>質問2 樹木、道路植栽によりCO₂排出削減を掲げたが方針が消えた。緑化推進の代替案はあるのか。</p> <p>質問3 太陽光発電とバイオマス発電の具体化、発電量倍化の戦略は。</p> <p>2. ワクチン接種関係職員の健康管理は適切か (副市長、市長公室長)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>ワクチン接種に関わる自治体職員が「過労死ライン」を超える労働実態にあるとの報道がある。本市に於いて、直接関わる部署とそこへ応援人員を出している部署の職員が過重労働の現状となっていないか、現状を問う。</p> <p>質問1 自治体職員に過労死ラインを超えて超過勤務するとの報道がある。本市はどうか。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
7	野呂 和久 (可児市議会 公明党)	<p><u>1. パートナーシップ制度について (教育長、市民部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>同性婚が認められない中、2015年に東京都渋谷区等がパートナーシップ制度を導入した。同制度は自治体が性的少数者のカップルに対し、結婚と同等であると承認するものである。制度の導入など本市の考えを問う。</p> <p>質問1 市職員、教職員への性的マイノリティ研修について。</p> <p>質問2 市民への啓発と公共施設の配慮事例。</p> <p>質問3 パートナーシップ制度について。</p>
8	渡辺 仁美 (立憲民主党 市民の声)	<p><u>1. 孤独・孤立支援を未来応援型へ (市民部長、福祉部長、子ども健康部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>孤独・孤立に悩んでいる市民にどう向き合うか。社会とのつながりを回復し、人材育成を経て、活躍の場を得ることはできるか。高齢者、子ども、若者、女性への見守りや寄り添いの現状を訊いたのち、その可能性を訊く。</p> <p>質問1 コロナ禍における高齢者の孤独・孤立支援の変容について。</p> <p>質問2 子どもの居場所づくりなどの本市の取り組みについて。</p> <p>質問3 若者に向けた社会的孤立支援対策について。</p> <p>質問4 社会とのつながりを回復した女性からの声について。</p> <p>質問5 未来応援型の就労支援や雇用機会の創出について。</p>
9	田原 理香 (会派きずな)	<p><u>1. コロナ禍における成人式のあり方について (市民部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>令和3年成人式は5月に延期されたが、県独自の非常事態宣言を受け、中止とした。しかし「記念撮影企画」に多くの新成人が集まり密集状態となった。市は人が集まることについてどう考えていたか。</p> <p>質問1 当初予定していた成人式の延期から、今回の中止決定に至るまでの経緯について。</p> <p>質問2 何故新成人が多く集まることが想定できる記念撮影を企画したのか。</p> <p>質問3 市は記念撮影の来場者をどの程度想定していたのか。また、撮影に至るまでの手順をどう考えていたのか。</p> <p>質問4 想定できる再会後の会食に対して、市として啓発等どのような対応をとったか。</p> <p>質問5 実行委員会のメンバーが取り組んできたことが参加者に伝わるものとなったのか。</p> <p>質問6 改めてコロナ禍において、行政が関わり一ヶ所に大勢の人を集めることについて、どう考えるか。</p>

No.	質問者	質問項目 (答 弁 者)
10	山根 一男 (立憲民主党 市民の声)	<p>1. 地域防災力向上事業補助金の運用について (総務部長)</p> <p>一問一答方式</p> <p>地域防災力向上事業補助金は、地域における防災力の向上を図ることを目的として、自主防災組織や自治会等が行う防災訓練、防災設備の整備等に要する経費に対して、助成するものだが NPO 等にも門戸は開かれているか。</p> <p>質問 1 過去 3 年の助成状況(予算執行・助成団体数等)や補助金交付要綱見直しの効果は。</p> <p>質問 2 補助対象団体の、その他市長が認める防災活動を主たる目的とする団体とは。</p> <p>質問 3 市内の防災活動を主目的とする NPO 等の動きを把握しているか。</p> <p>質問 4 防災リーダー養成講座を受講した、防災士はどれくらいいるか。</p> <p>質問 5 自主防災・自治会以外の防災団体への補助金交付は可能か。その方策は。</p> <p>2. 兼山合併後の検証 (企画部長)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>旧兼山町との合併から 16 年が経過した。可児市兼山地域審議会も本年 3 月で廃止された。人口は 16 年間で約 26%減少し、兼山小学校の通常学級の維持が懸念事項となっている。合併がもたらしたものを検証したい。</p> <p>質問 1 可児市兼山地域審議会は、合併後どのような働きをしてきたか。</p> <p>質問 2 他地区に比べて人口が激減しているが、人口維持への取り組みはあったか。</p> <p>質問 3 合併特例債はどのようなことに起債され、新市構築への貢献をどう評価するか。</p> <p>質問 4 合併前の兼山地区の期待にどのように応えてきたか、その成果は。</p> <p>質問 5 急激な人口減をはじめ、諸課題に対してどのように対処してゆくのか。</p>
11	松尾 和樹	<p>1. コロナ禍における子どもたちの心のケアについて (教育長、こども健康部長、教育委員会事務局)</p> <p>一問一答方式</p> <p>可児市政経営計画見直し案に対する外部委員の方々からの意見で『新型コロナウイルス感染症対策では心のケアも気配りして欲しい。』という趣旨の意見があった。この意見に対する本市の考え方を問う。</p> <p>質問 1 我慢を強いられている子どもたちの心のケアについてどう考えるか。</p> <p>質問 2 蘇南中学校の大規模改修で学校施設の利用に制限がある生徒に対して、他の公共施設を代替施設として積極的に利用できないか。</p>

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。